

1. 事務事業の目的・概要

|          |              |      |              |
|----------|--------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 木材振興室長 大國 敏彦 | 電話番号 | 0852-22-5156 |
|----------|--------------|------|--------------|

|         |  |                                  |  |
|---------|--|----------------------------------|--|
| 事務事業の名称 | 中海水中貯木場管理運営                                    |                                  |  |
| 目的      | (1) 対象   | 合板製造業                            |  |
|         | (2) 意図   | 合板用原木の安定確保を図るため、貯木場の適切な管理運営を目指す。 |  |
| 事業概要    | 中海水中貯木場の適切な管理運営をするために、巡視活動、施設の修繕、水質・湖底調査などを行う。 |                                  |  |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 |      | 年度      | 27年度 | 28年度  | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 |
|----------|------|---------|------|-------|------|------|------|----|
| 1        | 指標名  | 安全な施設管理 | 目標値  | 120.0 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 回  |
|          | 式・定義 | 施設巡視回数  | 実績値  | 120.0 |      |      |      |    |
|          |      |         | 達成率  | -     | -    | -    | -    | %  |
| 2        | 指標名  |         | 目標値  |       |      |      |      |    |
|          | 式・定義 |         | 実績値  |       |      |      |      |    |
|          |      |         | 達成率  | -     | -    | -    | -    | %  |

3. 事業費

|             | 前年度実績 | 今年度計画   |
|-------------|-------|---------|
| 事業費(b) (千円) | 3,212 | 144,097 |
| うち一般財源 (千円) | 3,212 |         |

4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む) |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

H24から貯木場利用が休止するなかで、施設の老朽化が進み、年数回ブイ・フローター等が流出する状況となっている。  
 H27年9月に、河川占用は将来的な再開に備え継続するが、老朽化したブイ・フローター等を撤去することについて、方針決定がなされた。  
 それを受けて、H28当初予算で浮遊施設撤去工事が予算措置された。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

施設が老朽化するなかで、応急措置による維持・修繕コストの縮減ができた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」  
 利用収入をもって施設を運営することは困難となっている。  
 ブイ・フローター等の貯木施設の流出が頻繁に発生している。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
 南洋からの原木輸入が中断し、貯木場利用がなかった。  
 ブイ・フローター等の貯木施設の老朽化が激しい。
- ③原因を解消するための「課題」  
 当面、貯木場利用の回復は見込めない状況にある。  
 流出の危険性の高まったブイ・フローター等の撤去。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

将来的な再開に備えて、河川占用は継続する。  
 流出の危険のあるブイ・フローター等の浮遊施設は撤去する。  
 撤去後は必要最小限の施設管理を継続する。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。